



新野中

凌雲の志

学校だより2026年(令和8年)1月7日



(No.14)1月7日号
発行 学校長 岩倉 雅彦



あけまして おめでとうございます



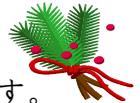
新年、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。さて、新しい年の始まりは、気持ちを新たにし、自分を見つめ直す絶好のタイミングです。年の初めに抱負(目標)を立てることは、気持ちのリセットに最適な行動といえます。普段の生活では忙しさに流されがちですが、年明けは環境が一度リセットされやすく、意識を変えやすい時期です。また、社会全体が新しいスタートを迎える空気に包まれているため、モチベーションを高く保ちやすいのも特徴です。さらに、目標を立てることで今の自分が何を大切にしているのかを見直すきっかけになります。これは『**自分を知る作業**』でもあり、結果としてより現実的で効果的な行動へとつながります。抱負は、気持ちを整理するだけでなく、日々の行動を導く“羅針盤”のような役割を果たします。たとえば早寝早起きを習慣にするという抱負を掲げると、自然と夜の過ごし方や食事時間の見直しにつながります。このように、抱負は1つの行動を起点に他の生活リズムをも整えてくれるのです。また、抱負を意識することで自分がどうなりたいかを明確にできるため、迷ったときの判断基準にもなります。

みなさんも年頭所感を考えたと思います。今年の自分はどうか?どうなりたいか?を。まずは、何がしたいのかを思い考えることが大切です。上にも書いてあるように『**自分を知る作業**』=『**自分探し**』を実践していきましょう。さて、先生方にも新年の抱負を考えていただきました。紹介します。

☆何よりも健康に過ごせるように、日々の幸せを実感しながら生活する。

☆3年生全員合格、全員元気に卒業。☆運動不足を解消し、心身共に健康に過ごす。

☆いろいろな所に出かけて、いろいろなものを見たり、いろいろなものを食べたりして、充実した時間を過ごしたい。☆日々の生活すべてに感謝しかありません。☆1日7000歩以上歩く☆新野中学校をよりパワーアップさせる☆結果にこだわる☆現状打破☆健康に気をつけ、心身ともに整った体を目指します。☆千里の道も一歩から



生徒会役員改選 立会演説会



12月16日(火)に生徒会役員改選立会演説会と投票が行われました。会長候補4名、副会長候補1名が立候補の理由や生徒会役員として取り組みたいことなどについて、それぞれの思いをプレゼンテーションしてくれました。今回の立候補者だけでなく、全生徒会員が主体的に学校生活を改善していこうとする意識を持ってほしいと思います。立候補者のみなさんには、新野中学校の次代を担う、生徒会役員としての活躍を期待しています。



「受け継がれる伝統芸能2025」 於：阿波十郎兵衛屋敷



12月14日(日)「傾城阿波の鳴門」ゆかりの場所で、格式高く、伝統ある雰囲気にも圧倒されつつも、演じきった民芸部のみなさん。お疲れ様でした。阿波人形浄瑠璃という伝統芸能が受け継がれてきた新野町で、これからもその一翼を担い、今行っている活動に誇りを持って続けていってほしいと思います。



『つれづれに……Vol.10』

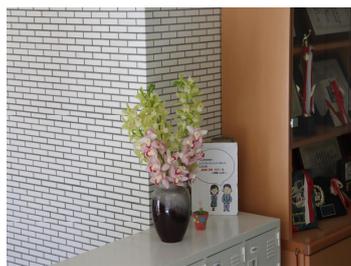


「新しき村」という名前を聞いたことがありますか。理想的な社会を作ること賛同した人たちが集まって、実際に村を作ったのです。その中心にいたのが、武者小路実篤でした。では、彼が書いた詩を読みましょう。『進め、進め』という題の詩です。

自分達は後悔なんかしてられない、したいことが多すぎる
進め、進め。麦が出来そこなった！ それもいいだろう
あとの為になる 進め、進め。



そんなこと言われたって、したいことがわからない、なんて思わないでください。詩の中では、こんな文句が出てきますよ。



何をしたらいいのかわからない！ しなければならないことを
片っぱしからしろ、忠実に。 進め、進め。



そうです。しなればいけないことを、次から次へとどんどんやっていくことです。そして前に進んでいくのです。「進め、進め」この言葉を、今、みなさん全員に贈りたいと思います。

～ 『子どもたちに詩の心を伝える講話』小金澤豊著／学事出版より～



どの学年も普段の授業を大切にできています。単純なことですが、一番大事なことです。ちょっとしたでも、できたことを自分の当たり前！ さあ「進め、進め」今年も新野中学校、教職員全員でみなさんを応援していきます。